



豊島区教育委員会
学校SDGs
推進アドバイザー

豊島区教育委員会「学校SDGs推進アドバイザー」

阿部 治先生からのメッセージ

SDGsは、我々の世界を変革する、持続可能な開発のための目標です。このままでは持続しない世界を変えていくための17の目標に子どもたちが色々な形で取り組んでいます。今回のSDGsフェスティバルでは、全ての人たち、世代、地域、職業、世界を超えて、まさにつなぐ、共通言語であるという、SDGsの特徴を、いかに発揮していたと思います。

子どもたちは、活動や体験等から、何が地域の課題か、あるいは世界の問題か、ということに想いを寄せ、自分たちができることをやっいてこうと、まさに「自分ごと化」しています。しかし社会の仕組みを変えなくてはできないことが多々あります。子どもたちが、どう社会と関わり、社会の仕組みを変えていくのか、そういう視点を持った大人に成長していってくれることを期待しています。

本事業にかかる取組について、専門知識や見識に基づく助言を受けるために、SDGsに精通した、立教大学名誉教授・公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長の阿部 治先生に、「学校SDGs推進アドバイザー」に就任いただきました。阿部先生には、教職員に向けた研修や、学校や教育委員会の取組に対して様々なアドバイスをいただいております。



豊島区教育委員会
SDGs環境教育
アドバイザー

豊島区教育委員会「SDGs環境教育アドバイザー」

榎野 光路先生からのメッセージ

今年は、地域の植物を地域と育む「森の中の学校」が落成され、SDGsフェスティバルでは、SDGsの環境系ゴールに、生徒と先生と地域が取り組む未来のコミュニティ・スクールの姿が披露され、地域の連帯を感じました。一方の世界では、COP27気候変動対策会議が開催されましたが、各国の思惑によりCO2削減の加速などの成果はなかったようです。最近ではグローバルと言った、地域でも世界の目線を持つことが重要なのですが、世界では連帯できないことが増えています。このままで良いのでしょうか？カタールで開催されたサッカーW杯でも人権問題で分断する中、試合後の日本人サポーターによる観客席のゴミ拾いが世界で称賛される報道もありました。小さな行動の積み重ねでゴールへ向かうのが日本人の長所で、世界の心を変える力でもあると思います。このように皆さんもこの時代の豊島区SDGsの取組をきっかけに、ぜひ学校や地域と連帯して社会を変えてみてはいかがでしょうか。

学校内のビオトープ等を拠点とした環境教育活動や学校と地域の協働活動を推進するため、大正大学社会共生学部公共政策学科 兼任講師の榎野 光路先生に「SDGs環境教育アドバイザー」に就任していただきました。榎野先生には、ビオトープ等の維持管理を通じた地域協働活動や環境教育・地域協働活動を検討している学校での研修やワークショップ等によりご助言をいただいております。

池袋第一小学校 落成式・施設見学会を開催！

9月17日(土)、池袋第一小学校落成式及び施設見学会を開催しました。

午前中の式典には、齊藤雅人副区長、木下広豊島区議会議長をはじめ、国会議員や都議会議員など約135名の来賓の方々にご出席いただきました。また、池袋第一小学校の児童・教職員は体育館と教室でのライブ配信で出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、規模縮小での実施となりましたが、新校舎の完成を盛大に祝いました。

午後には、施設見学会を開催しました。これから入学する児童、地域の方々、卒業生など、約500名もの方が訪れ、多くの笑顔とともに校舎を見学されていました。

「森の中の学校」がコンセプトである池袋第一小学校は、区内小学校初の5階建てであり、子供たちが様々な樹木や植物など自然に触れあえる学校となっています。

豊島区教育委員会は、今後も地域の拠点となる学校づくりを進めてまいります。



落成式の様子